



ゆづっ子文化祭

ゆづっ子パワー全開

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



12月定例会からタブレット議会スタート 2

10人が町の課題を問う 6

おじゃまします 16

タブレット議会スタート



電子データ化された議案を参照しながら議事を進行

議会改革特別委員会では、タブレット端末を使用した議会運営に向けて逗子市議会への先進地視察、タブレット操作など研修を重ねてきた。

議会の要望に応える形で、町当局でもタブレット端末導入に向けてのルールづくりなどの準備が進められた。昨年8月に、課長以上の職員、議員にタブレットが配付され、12月定例会からタブレットを活用しての議会運営がスタートした。

これから事務量の軽減、議会の政策提言能力の向上・チェック機能の充実、町民への情報提供の向上、環境負荷の軽減などの効果が期待される。

タブレット端末の運用により、議会運営、議会活動の活性化と効率化、町民に信頼される議会を目指す。

議会基本条例制定に向けて

目的

議会は多様化する町民意識と行政需要に応えるためには、これまで以上に、監視機能、調査機能、政策形成・立案機能等を強化していくことが必要である。

これまでの議会改革の取り組みを発展継承させ、確固たるものとして条例化する必要がある。

これまでの取り組み

議会改革特別委員会では、条例策定推進部会を設置し、視察研修や勉強会を数多く行い、議員の資質向上や開かれた議会を目指して、休日議会、地区懇談会等盛り込み、新たに町民の声を聴くための一般会議開催等を追加し、分かりやすい条例制定に努めてきた。

今後の予定

来年度の制定を目指し、町民の皆さまのご意見をお聞きする場を設ける。

平成28年12月議会を12月9日から16日まで開催し、28年度補正予算案、条例改正案、請願、指定管理者の指定など17件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決した。

条例の改正

・富士川町行政組織条例の改正

子育て世代の多様なニーズに対応するため、4月から子育て支援課内に「子育て世代包括支援センター」を設置する。

・富士川町ひとり親家庭医療費助成に関する条例の改正

児童扶養手当法および児童福祉法の一部改正によるもの。

・富士川町特定教育・保育施設および特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の改正

児童福祉法等の一部改正によるもの。



子育て支援課相談窓口

・富士川町ますほ文化ホール条例の改正

管理運営を指定管理者に移行するための改正。

指定管理者の指定

・ますほ文化ホールの指定管理者の指定

問 一般社団法人ふじかわの理事会構成は。

答 社員は富士川町の町長および川手貞良

代表理事 永安健亮（理事長）、早川竜一

理事 井上孝、野中正人
監事 増原俊郎

問 非営利運営といっても赤字が続くと思われる。その場合の指定管理料は変更するのか。

答 自主事業の収入の不足する部分は、町から委託料が払われる。

・富士川町過疎地域自立促進計画の変更

計画に新たに事業を追加するなど変更が生じたことに伴う改正。

請願

・法務局、更生保護官署、入国管理官署、少年院施設の増員に関する請願

請願が採択され、国の関係省庁に意見書を提出した。

意見書

・法務局等の増員に関する意見書の提出

〈内容〉

法務省の所管する行政サービスの充実強化並びに職員の労働条件の改善を図るため、職員の増員が実現するよう意見するもの。

・地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出

〈内容〉

地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度のための法整備を要望するもの。

議会のおもな活動日誌

10月10日 町立保育所連合運動会

11日 リニア対策特別委員会

16日 第7回富士川町体育祭り

21日 議会運営委員会、全員協議会、議会改革特別委員会

25日 全国町村議会広報研修会

27日 町村議会議員研修会

11月 4日 全員協議会

13日 第7回甲州富士川まつり

17日 第2回町村議会広報編集長会議

18日 議会運営委員会、全員協議会

30日 タブレット端末導入検討委員会

平成28年度一般会計補正予算

6353万円を増額補正

総額81億4491万円

〔おもな補正予算〕

新児童センター用地購入費	5200万円
新児童センター物件補償費	279万円
町民交流広場建設工事費	4108万円
鵜沢小学校太陽光発電整備工事費	3356万円
中部横断自動車道開通イベント経費	133万円
町道大柵大久保線土地購入費	1184万円
予算更正・事業費確定により	△8259万円

おもな質疑

問 新児童センターの用地購入費、物件補償費それぞれの件数は。

答 土地購入地権者6件、補償費として作業所および樹木等で4件。

問 新児童センター用地の総面積は。

答 約3987㎡

問 町民交流広場工事請負費4108万円の内容は。

答 現在グラウンドの地下となる舗装工事を行っているが、その後に敷設する人工芝等の工事費。

問 町道大柵大久保線土地



建設中の町民交流広場（富士川病院東側）

購入費の該当場所は。また何筆で面積はどのくらいか。

答 廃軌道から8メートル道路までの土地で、用地は3筆、面積は約450㎡。

問 最勝寺西之入線道路改良工事2800万円減額の理由は。

答 要望していた国の補助金額が予定より少なかったため。減額により着手できなかった部分は来年度要望して事業を続けたい。

問 中日本高速道路への鹿島の町有地貸付の詳しい場所は。

答 既に用地取得してある鹿島・落居トンネルの計画地。

組 合 議 会 報 告

平成27年度決算総括表

一般会計	歳入 16億8519万円 歳出 16億6598万円
介護保険特別会計	歳入 2億3716万円 歳出 2億2493万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	歳入 2072万円 歳出 2015万円

各町の負担金

富士川町	3億3312万円
市川三郷町	3億3721万円
早川町	7615万円
身延町	3億3891万円
南部町	2億2906万円

10月12日、峡南広域行組合議会定例会が開催され、27年度決算認定3件、条例制定1件、補正予算1件などが原案のとおり可決した。

峡南広域
行政組合

平成27年度決算総括表

会計名	区分	決算額	富士川町負担金
一般会計	歳入	2057万円	310万円
	歳出	1698万円	—
し尿処理事業	歳入	2億5807万円	4368万円
	歳出	2億3613万円	—
火葬事業	歳入	2億1276万円	2050万円
	歳出	1億9746万円	—
合計	歳入	4億9140万円	6728万円
	歳出	4億5057万円	—

※各事業とも約90%が市町の負担金で運営されている。

11月1日、三郡衛生組合同定例議会が開催され、27年度各事業の決算認定3件、公平委員選任の同意案1件が原案のとおり承認された。また、議長選挙が行われ、富士川町の市川淳子議員が新議長に当選した。

三郡衛生組合

平成27年度決算総括表

会計名	決算額	富士川町負担金
一般会計	4140万円	319万円
ごみ処理事業特別会計	23億9727万円	8651万円
地区公園事業特別会計	828万円	85万円
老人福祉事業特別会計	3258万円	281万円
勤労青年事業特別会計	5477万円	454万円
し尿処理事業特別会計	2億2438万円	0円
合計	27億5868万円	9790万円

9月30日に組合議会を開催し27年度決算を認定した。富士川町負担金は前年度より572万円の減となった。なお、ガスボンベによる不燃物処理施設爆発事故に伴う改修費1574万円の補正予算を認定。

中巨摩地区
広域事務組合

11月30日、峡南医療センター企業団議会第4回臨時会が開催され、補正予算1件を原案のとおり可決した。

峡南医療センター
企業団

収入

・へき地医療拠点病院設備整備費補助金 4127万円

支出

・CT撮影装置ほか、市川三郷病院へ設置 4127万円

一般質問

まちの課題を問う

問 CLT（直交集成板）
製造産業に力を

答 進出企業があれば
誘致を進める



長沢 けん 議員



適齢木材の早急な活用策を

問 町内の人工林の活用を
提案すべきだが。

産業振興課長 適齢伐期を迎えている森林の活用を、峡南森林組合や森林所有者に積極的に働きかけたい。

問 森林を活用したCLT製造の産業に力をいれる考えは。

産業振興課長 成熟期を迎える人工林の活用は、国が進める成長戦略として、期待される分野。森林資源を有効に活用できることから、進出企業があれば、誘致を進めたい。

問 地元の木材を、どう活

用していくのか。

産業振興課長 公共施設建設が予定されているので、CLTに限らず、利用できるところがあれば木材を積極的に使っていきたい。

問 「CLTで地方創生を実現する首長連合」に入る考えは。

町長 加入に関係なく、積極的に推進する。必要が生じた場合には加入したい。

問 富士川町としてこの産業を切り札にしてもらいたい。

町長 峡南森林組合、また、森林所有者にその適齢期がきた木材の有効利用を促していきたい。

リンニアの対応は

問 財政負担を考え、側道の
買い取る幅を減らす考えは。

土木整備課長 交付金事業を取り入れる上で必要な道路構造で、全体幅員6・5mを減らすことは考えていない。

問 既存の道路を側道に活

用する考えは。

土木整備課長 歩行者の安全のために6・5mは必要。基本的にはリンニアに沿ってつけていく。

問 移転を余儀なくされる
方の移転先の確保は。

財務課長 代替地登録は189筆。山梨県リンニア用地事務所の代替地情報と併せ情報提供し、町内への居住を勧めたい。

問 工事事務所の誘致、
施業者に町有住宅の空き部
屋を賃貸し、住民票を移す
考えは。

財務課長 施工業者が決まったら、寄宿舎の用地や、町有住宅を斡旋する。

問 県の騒音に関する基準
の方針により防音壁、防音
フードが決まるのか。

町長 騒音規制法の規制区域、および防音壁、防音防災フードの環境対策について、沿線地域の皆さまの意見を聞きながら検討し、県と協議する。

〔他の一般質問〕

・土砂災害対応は

問 増穂商業高校の跡地に公共施設を

答 県の跡地利用が優先する

堀内春美 議員



問 増穂商業高校を、富士川町に残せなかったことについては非常に残念の一語に尽きる。経済面と活性化の面においても非常に損失である。34年の廃校後の跡地利用についての考えは。

政策秘書課長 高校の敷地や校舎等の建物が県の所有となっていることから、今後県の動向を注視していきたい。

問 現在はどうかできないが、高校がなくなる代わりに、町の活性化のためにも、違う公共施設を要望できないか。例えば峡南高等技術専門校を、甲州市にあ

る産業技術短期大学のように格上げし誘致することや、富士河口湖町にある、私立だが健康科学大学の誘致などができれば、経済の活性化や人口の増加の面からも非常に良いことにつながるっていく。町民の中には、町民体育館をとの声もあるが、それでは町の人が集うだけである。外部から人を呼び込むような考えは。



統合が決まった増穂商業高等学校

政策秘書課長 公共施設の誘致の質問については、県の所有になっっていることから、県の跡地利用が優先すると考える。

青柳32号線は

問 総工費2億5千万の内の訳と取得する件数は。

都市整備課長 概算事業費で、調査測量費1千万円、

用地補償費1億7千万円、工事費7千万円、取得する土地の件数は15件である。

問 現在の進捗状況は。

都市整備課長 12月8日に道路の幅杭の確認を、現地で地権者の立ち合いのもと行った。

問 議会・町に対して3人の方から32号線は不要という投書もきているが。

都市整備課長 甲西道路から町道青柳長澤線までを第一期工区として計画している。東西方向の幹線道路の整備が遅れているため必要と考えている。

問 現在東西の道路が4本もあるのにまだ建設するのか。町民に寄り添った行政の進め方をすべきではないか。

町長 高速道路を使って町へ来る人たちの街中へのアクセス道路として必要な道路だと考えている。まだまだ東西の道路は不足している。

問 活性館、やなぎ亭の活用策は

答 倒壊の可能性が高く、取り壊す



川口正満 議員

問 活性化策検討委員会は、基本的に存続する方向で、耐震化、整備に関して提言書が出された。1年10カ月も休眠資産状態で放置されたが、検討状況は。
産業振興課長 耐震診断結果、Is値0.07で、倒壊の可能性が高いと診断。耐震補強には、多額の費用が必要で、活性館の耐震化は行わない。
問 追分館やなぎ亭の耐震調査結果は。
産業振興課長 Is値0.17で、倒壊の可能性が高いという診断結果で、既に休

館しているため、あらためて公表は考えていない。耐震化は、多額な費用が必要なので考えていない。

問 両施設の利用をどのように具体的に考えているか。
産業振興課長 両施設は、耐震基準を満たしておらず、集客施設として活用できない。取り壊すこととし、賑わいのまちづくりの拠点として土地利用を検討する。取り壊した後、当面は青柳4号公園として使用していきたい。

問 取り壊しの工程や、予算の計上は。
町長 取り壊したのち、次の「賑わいのまちづくり計画」を地域の皆さんと一緒に考え、新しい活用方法を考えていきたい。解体時期は、活性館は非常に危ない状況なので、早急に財源確保し対策していく。やなぎ亭の中にある歴史資料の保管を検討していく。

問 民俗資料館の耐震化調査は。
生涯学習課長 昭和50年に

問 新庁舎整備基本構想案は
量調査と通学安全の対策は
管財課長 小学生の登下校

27年度福祉保健課の窓口利用状況(来所)

健康増進担当	83件
障害福祉担当	1,742件
介護福祉担当	約7,000件
地域包括支援センター	約600件

県有形文化財に指定されたが、こうした建物については耐震化と文化財価値との両立の難しさの問題で、耐震補強が進んでいない。耐震診断を行い、活用策を検討していく。

新庁舎整備基本構想案は

問 県道青柳平林線の通行量調査と通学安全の対策は。
管財課長 小学生の登下校

時間帯は、本庁舎の利用者が多い時間帯と重なることはない。敷地、建物の計画が確定した段階で、登下校の安全対策を検討する。
問 福祉保健課の窓口を現状のまま残す考えは。
管財課長 庁舎整備検討委員会で、新庁舎の整備方針などを検討。その結果、福祉保健課を含む分散している行政機能を新庁舎へ統合することを基本方針とした。

問 危険空家などの解体に補助金を

答 空家解体の補助金制度を創設する

井上光三 議員



問 「空家等対策の推進に関する特別措置法」が施行され、特に危険度の高い空家の所有者に対して撤去等の勧告、命令が可能となったが、解体に費用がかかるため、倒壊の危険性が高い空家が放置されている状況である。解体補助金などの支援ができないか。

町長 町では現在、空家等実態調査を行っている。これまでにも倒壊の危険性の高い空家についても把握しており、地域から苦情があった建物は解体指導をしてきたが、問題は解決していない現状である。今後、調

査結果により指定した「特定空家」「危険空家」を解体するための補助金制度を創設していきたい。

問 空家等実態調査の進捗よく状況は。

政策秘書課長 本年7月に調査委託契約を締結して実施している。現在、町内全域の現地調査がほぼ終了し、データ整理と所有者の把握意向確認などの準備を進めている。今後、危険度を4段階に評価し「特定空家」「危険空家」を指定していく。



倒壊の危険性が高い空き家

主要道路に防犯カメラの設置を

問 防犯カメラは事件・事故、犯罪の予防に有用とされているが、町内での設置数は少ない現状である。最近、中山間地域で農業機具などの盗難が続けて発生している。防犯カメラは犯罪の抑止になるため、主要道路に防犯カメラの設置ができないか。

防災課長 人の目が行き届かない山間地域では、留守がちな家屋を狙った犯罪や

不審事案が発生している。防犯カメラの設置は高齢者が多く、防犯対策の必要性が高い地域に効果的と考えられる。29年度から、地域の総意による要請に応じて、必要とする場所に順次設置していきたい。

婚活イベントの成果と計画は

問 少子化対策、定住人口促進などのため、本年度、婚活イベントが2回実施されたが、検証は行ったか。また、今後の計画は。

政策秘書課長 10月30日に1回目、12月10日に2回目の婚活イベントを実施した。出合いの場を作り、これを機会に結婚に至り、町内に家庭を築いてもらうことを趣旨として実施した。開催後間もないので成果を確認することはできていないが、今後はイベント内容や開催時期などとともに、近隣市町村や県内企業とも連携して、広域的にできないかを含め検討していきたい。

問 水道料金等の値上げは

答 上水道は一律10%

神田 智 議員



問 料金改定に至る経過は。
上下水道課長 上下水道事業は、人口減少等により事業収益は減少傾向にあり、施設の耐震化や老朽管の布設替えなど、事業の維持管理に支障を来す恐れがあるため、料金の改定が必要。

問 水道料金等審議会の内容は。
上下水道課長 上下水道料金は、現行料金に一律20%を乗じた改定が必要だが、平成29年度に一律10%の改定を行い、31年度に再度審議会を開催することが望ましい。簡易水道料金は、急激

な負担増を考慮して、29年度に一定の料金改定を行い、2年毎に審議会を開催し、33年度に町内の水道料金が同一の料金体系になることが望ましいとの内容であった。

問 水道事業会計では、約3億円の留保金があるが。
上下水道課長 27年度決算では、資本的支出の約7800万円の赤字を留保金で補てん。料金改定を行い、今までどおりの健全経営を考えている。

問 住民への周知は。
上下水道課長 12月5日から住民説明会を開催、答申内容はホームページにも掲載している。

問 個人住宅の漏水対応は。
上下水道課長 地下や壁内の漏水は、指定給水装置工事事業者が修理した場合に限り軽減制度があるが、使用者が確認できるトイレや蛇口の破壊など、不注意による漏水では対象にならない。

峡南5町 搜索協定とは

問 税の公平性の観点から滞納整理の対応、納税者の納税に対する取り組みなど、いろいろ課題が考えられる。10月に峡南5町による搜索協定を締結したが、どのような効果が期待できるか。
税務課長 町税等の徴収強化の一環として、搜索に必要となる徴税吏員の派遣や技術的援助について、継続的な連携を図ることを目的に協定を締結した。搜索は、

滞納者の意思に関係なく行う調査で、税徴収職員に与えられた非常に強い権限であり、これまでに市川三郷町、身延町と連携し実施した。

問 徴収率をさらに上げるための取り組みは。
税務課長 滞納者に対する財産調査、差押え、搜索の強化、県税事務所との共同催告書の送付や夜間訪問徴収を実施すると共に、納税方法を原則口座振替とする要領を整備し、口座振替キャンペーンを実施する。

下水道料金表 (案)

		汚水量	現行	改定額	引上げ額	改定率
下水道	基本料金	10㎡	750円	880円	130円	17.33%
		11㎡～40㎡	90円	110円	20円	22.22%
	従量料金	41㎡～200㎡	110円	130円	20円	18.18%
		201㎡以上	135円	155円	20円	14.81%
	使用例	1世帯1ヵ月料金(24㎡)	2,010円	2,420円	410円	20.40%
		1世帯1ヵ月料金(48㎡)	4,330円	5,220円	890円	20.60%

上水道料金表 (案)

		区分	現行	改定額 (平成29年度)	引上げ額	改定率
上水道	基本料金	10㎡	800円	880円	80円	10.00%
		11㎡～40㎡	100円	110円	10円	10.00%
	従量料金	41㎡以上	110円	121円	11円	10.00%
		メーター使用料	60円	66円	6円	10.00%
	使用例	1世帯1ヵ月料金(24㎡)	2,260円	2,486円	226円	10.00%
		1世帯1ヵ月料金(48㎡)	4,740円	5,214円	474円	10.00%

※消費税額加算後、5円単位での端数調整を行う。
 ※使用例は、メーター口径13mmの場合

問 定時定路線バスの増便を

答 運行体制を検討する

青柳光仁 議員



問 公共交通活性化協議会は年に何回開催しているか。

政策秘書課長 デマンドバス等の運行について年2回会議を開き、アンケート調査の結果や運行計画など審議している。

問 今年度はいつ開催されたか。

政策秘書課長 6月27日に第1回目を開催し、2回目は年度末に向け開催予定。

問 定時定路線バスの運行時間の変更や、増便は検討できないか。

政策秘書課長 アンケートでも要望がないが、利用者の利便性が図られるように



鰻沢口駅発「ホリデーバス」

運行体制について検討する。

問 コミュニティバスの乗車人数は集計しているか。

政策秘書課長 JR 鰻沢口と市川大門駅間で平日6便運行している。27年度は月平均976人の実績である。

問 通学時間や買物時間で乗車率も違うと思うが、デ

マンドバスの定時1便の10谷行きは誰も乗っていない。

政策秘書課長 デマンドバスやホリデーバスの運行時間は定期的に見直しするのか。

政策秘書課長 デマンドバスは、利用者に定着しているのを見直しは行っていない。ホリデーバスについて

は、観光需要の観点から、身延線との接続を重視して運行している。身延線のダイヤ改正の場合には、運行時間や停留所の見直しも検討する。

本庁舎会議室等の町民利用は

問 町民会館の利用申し込みは希望の部屋の確保が競争状態で、予約できない状況にある。役場本庁舎の会議室や食堂を、文化協会や体育協会の各々が利用できないか。

管財課長 会議室の利用は一般に許可していないが、各専門部等の利用についても、役場職員がその部に所属していると言うことではなく、事務局職員として同席する場合は使用可能としている。

問 大規模事業と今後の財政見通しは

答 非常に厳しいが実施の決意をした

斉藤 欽也 議員



問 町は10年の間に120億円規模の事業を計画しているが、中長期計画いわゆる財政シミュレーションはどうかっているのか。

町長 7つの大型事業は喫緊の課題であり、後年度に送ることは、ますます財政を圧迫させる。事業化を前に試算し、平成37年までの財政シミュレーションに反映させた。

問 財政シミュレーションによると、歳入の部分では30年度以降、毎年約10億円、33年度には24億円の地方債発行を前提とした予算編成

となっている。

他方、地方交付税は年々減少していく。歳出では公債費が上昇し、このままで公債費比率は14〜15%を超えるのではないかと。

町長 起債は90億を超えるが、実際に町が返済する額は40数億円でいける。実質公債費比率も将来負担比率も上がる。もしかすると財政健全化計画も作らなくてはならない。それを承知の上で事業化を決意した。

問 財政シミュレーション

における、実質公債費比率、将来負担比率、経常収支比率など、今後の変化は。

町長 主要財政指標は、財政の健全度を示す指標であるが、確実に示せるのは決算に基づく数値である。

問 財政シミュレーションの各年度の主要指数を試算することは意味がないということか。

町長 シミュレーションを立てる中で財政運営はしていかなくてはならないが、年度ごとの財政シミュレ

ーションより、後年度負担を40数億円で終わらせる財政計画を立て、事業に道筋をつけたい。

29年度予算編成は

問 今年と来年の予算編成方針の大きな違いは。

財務課長 事務事業の徹底的見直し、特にスクラップアンドビルドのスクラップ（廃止）を強調した。

問 新規または廃止が検討されている事業は。

町長 新たな事業は、図書館および周辺整備、給食センター用地取得に向けた鑑定調査など。ソフト事業では、空家解体への補助制度の創設や中山間地域への防犯カメラの設置など。一方、スクラップに力を入れていくが既存のもの整理ができない状況であり、現時点で廃止予定の事業はないが、当初予算編成に向けて廃止・統合できる事業を検討したい。

富士川町の財政予測～おもな項目～ (単位:百万円)

項目/年度	H27	H33	H34	H37
地方税	1,577	1,493	1,493	1,454
地方交付税	3,269	2,811	2,811	2,811
地方債(借金)	626	2,440	1,674	842
歳入総額	7,806	9,486	8,877	7,853
公債費(返済)	820	1,018	994	1,222
普通建設事業費	775	2,434	1,890	752
うち補助事業	324	707	676	386
単独事業	451	1,727	1,214	366
歳出合計	7,433	9,200	8,648	7,701

人口予測(人) H28・1月 15,915 H37 13,429

- ※H27は27年度決算額。この表は27年度決算後に作成された町の財政シミュレーションから抜粋
- ・数字は確定的なものではなく予測であり誤差がある。
- ・未記載の歳入・歳出の他の項目は微減・微増である。
- ・人口は町財政、将来負担を考えるうえで重要な要素。

問 若者の定住促進の対策は

答 出産祝金を創設する

小林有紀子 議員



問 若者の定住促進として、若い夫婦世帯の経済的負担軽減と、出産意欲の増加につながるよう「出産祝金」の支援をする考えは。

町長 若い世代の住民が、安心して子どもを産み、子育てができる環境づくりは、少子化の進む本町において重要である。4月から「出産祝金」を新たな支援策として実施したい。

問 三世代以上の同居する世帯への増額支給は。

町長 町で子どもを産んでくれた人、生まれてきた子どものためにする祝金として検討する。

中部横断自動車道 開通イベントは

問 「中部横断自動車道」の、六郷・増穂インター間が3月に供用開始となる。開通前のイベントの開催は、県内外に本町をPRするチャンスである。積極的に行うべきと考えるが。

政策秘書課長 明年3月にイベントの開催を予定。道の駅富士川から、高速道路上を歩くウォーキングイベントや物産展を計画。ホームページやフェイスブック

などでPRする。

問 観光客の集客増加を目指すし、「観光ガイド」の育成に力を入れる考えは。

産業振興課長 町の魅力により広範囲にPRするとともに、それぞれの観光目的にあった「観光ガイド」の育成に取り組む。道の駅富士川では、専任のコンシェルジュの配置も検討している。

問 観光振興策にプラスになるよう「観光ガイド」のPRと基本的な「ガイドマニュアル」を作成し、指導



祝 中部横断自動車道 富士川橋 渡り初め

大勢の参加者でにぎわった渡り初め

育成する考えは。

産業振興課長 「ガイドマニュアル」を作成し、観光ガイドの育成に取り組み、HPで紹介する。

問 外国人観光客の対応として、語学のできる方の観光ガイドの育成は。

産業振興課長 対応策を研究していく。

デマンドバスの乗降場所拡充を

問 全国的に高齢ドライバーの運転操作ミスによる交通事故が増加。デマンドバスをさらに活用し、運転免許証を返納しても、安心して生活していける町づくりが必要。高低差のある集落での、乗降場所の拡充は。

政策秘書課長 時間の範囲内で安定した運行を行うため、定時定路線のバス停のほか、鵜沢地区においては指定したバス停を利用。今後は利用者の状況を把握し、運行タクシー会社とも協議し検討したい。

問 新児童センター設計業者の選定は

答 プロポーザル方式とした

市川 淳子 議員



問 今回の選定は、入札ではなく、あえてプロポーザル方式で行った。何の目的・メリットがあるのか。

子育て支援課長 児童センターは、子どもたちの育ちや子育て家庭の支援、また地域との繋がりや絆を深める拠点施設であり、安心・安全を念頭に、心地良い子どもの居場所として集う、夢のある施設と考えている。魅力ある子どもの城として、優れた技術提案を求め、企画・提案能力のあるところを選ぶことができる。

問 今回の選定方式を決め

たのは、庁舎内で検討したことが。

町長 この方式でと言い出したのは私である。入札方式は、ある程度の設計書を作り金額を出し、金額を提示しながら予定価格を作りやってみる。決められた形のものを持たずに金額だけのことになる。こうしたやり方は、非常に役所的な考え方になってしまう。

児童センターは、子どもたちが使う施設である。子どもの城として、子どもが行きたくなるような技術提案をしていただき、機能面や安全面からも、これまで手掛けた経験のある業者の提案の中から、選定委員が審議し一業者に決める。そこを優先業者としてさらに協議を進め、合意に達すれば、契約の締結にと進めていくやり方がプロポーザル方式である。当然、設計の上限額は決めてある。

問 プロポーザル方式というのは、決まっているものを提案してもらうのではな

く、何回も話し合いを行い、煮詰めていきながら、最終的にこちらの思いを設計者の高い技術と経験で具現化し、形にしていくということか。

町長 これから詳細に協議を詰めていき、1年くらいかけながら設計書が出来上がってくると思う。

問 協議を詰めていく過程で、児童センターを利用してきた人たち、現場の職員、そこに関わってきた人たちの声を反映してほしい。そうした機会をもってもらえ

るのか。

子育て支援課長 今後も詳細な部分は、綿密な打ち合わせを行う中で、反映していく。

問 リニアの関係で移転を余儀なくされたが、新しい児童センターには、今以上に期待と夢が膨らむ。ぜひ良いものにしてほしい。

町長 子育て支援課を中心とした職員も、この施設をつくるには相当の苦労があると思うが、役場を挙げて頑張っていきたい。



新児童センターの建設予定地（最勝寺地内）

問 高齢者の交通事故防止対策は

答 運転免許証の自主返納を奨励する

秋山 勇 議員



問 高齢者の運転や介護などの生活全般の相談に乗る地域包括支援センターとして、本人や家族からの相談についての対応は。

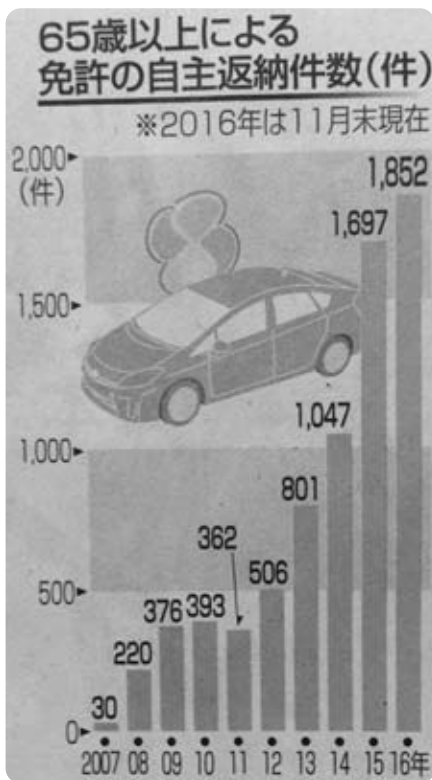
福祉保健課長 高齢者の運転については、全国的に事故報告の多い中、その対応が必要となっている。高齢者は地理的な問題や、核家族化の進行など環境的な問題もあり、移動手段としての車の運転の有無は、生活に大きな影響を与えている。現在、地域包括支援センターでは、認知症の方のご家族や身体機能低下を伴う高齢者の方からの相談では、

デマンドバスの利用や、買い物支援といった生活援助サービスの情報提供をするなどの相談支援を行っている。相談対応をした中で、免許証返納に繋がった方もいる。

問 自治体の窓口として、医療・保健・介護・福祉の関係機関との連携は。

福祉保健課長 高齢者の運転は、その安全性が問題になっていくことから、主治医の意見や本人、家族の思

いを確認する中で、医療機関やサービス事業者などの関係者と連携を図りながら、高齢者の運転対応や生活の質の確保に向けた支援を進めている。運転免許証の返納による精神的な落ち込みや、外出困難から、認知症の進行や閉じこもりといった問題も発生しているため、状況を確認しながら、今後支援していくことを考えている。



県内の自主返納件数は、既に昨年を上回る
(山口新聞記事より)

災害時における要支援者対策は

問 高齢者、障がい者などの自ら避難が困難な要支援者名簿の作成は。

福祉保健課長 災害対策基本法で名簿作成が義務付けられており、毎年災害時要支援者台帳の更新を行い、要支援者名簿の作成をしている。

問 避難先を書き込んだ個別計画の作成は。

福祉保健課長 避難支援を行う者の情報や、避難場所、避難経路の情報などを記録してあるもので、毎年、要支援者台帳の更新に併せて作成している。



町民の活動を訪ねて おじゃまします

にこにこルーム取材しました

取材日：12月21日 青柳光仁議員、長澤健議員



親子でアクセサリ作り

3回目の今回は、「にこにこルーム」の取材に、かじかざわ児童センターにおじゃましました。

にこにこルームは、妊産婦・就園前の親子が気軽に集まり、遊びを通じて情報交換したり、保育士・保健師による育児や健康の相談もできたりと、親子で楽しめる教室です。

親と子それぞれを対象としたプログラムの「キッズ」、「ママ」のクラス、子育てに関する相談などができる「キッズママ」クラスの3クラス構成で、月3回開催されています。

取材日の今日は「ママ」クラスの日、毎日頑張っているママへのクリスマスプレゼントとして、プラスチックの板を加工してオリジナルアクセサリ作りをしました。

参加したお母さんたちは「今日は特別にボランティアの方が子どもの面倒を見てくれたおかげで、久しぶりに自分の時間ができ、素敵なクリスマスプレゼントになりました」と喜んでいました。

参加した方に聞きました。子育てしてて、嬉しかったときはどんなとき？



佐野美和さん/蓮斗くん
(最勝寺)

笑顔でママって
呼んでくれること。



堀之内光世さん/駿くん・湊くん
(鵜沢北)

子どもの笑顔を
見ていると癒される。



矢崎美保さん/瑛真くん
(鵜沢北)

子どもが楽しく遊んで
いる姿を見ているとき。



深沢歩さん/守くん
(千葉県在住・鵜沢鬼島へ帰省中に参加)

できなかった事ができるよう
なったり、お話しができるよう
なったりと成長を感じたとき。

今後の予定は？

- 2月3日 ママ 恵方巻を作って食べよう!
- 14日 キッズ 手遊びを楽しもう
- 24日 キッズ ママ 保健師相談
- 3月10日 ママ 加藤先生の健康教室
- 14日 キッズ 大きくなったね! (手型、足型をとる)
- 17日 キッズ ママ 保健師相談

楽しい内容が満載。赤ちゃんのお出がけの第一歩としても最適な教室(施設)です。親子で参加してお友達をつくってみてはいかがでしょうか?



皆さんの活動を突撃取材します

これからも情報をお寄せください!

広報常任委員会 委員長 長澤 健 副委員長 青柳 光仁 委員 齊藤 正行・秋山 勇・川口 正満・深澤 公雄